

Smile

睦合中学校
2学年だより
12月号 12月4日

「得ではなく“徳”をすること」

国語の授業の中で「下流志向」というお話を読みました。その中で最近の子どもたちは「自分の労力に見合った分の報酬をすぐに求める存在」として描かれています。簡単に言えば自分の“得”(=もうけ)になることはやるし、“得”にならないことは全然やろうとしないのです。得しないのに労力を払うのはバカバカしいと感じるからでしょうか。でも本当に大事にしたいのは、“得”することではなく、“徳”することではないかと思うのです。

ちなみに“徳”という字は…



徳

左側のぎょうにんべんが「道」を。右上は「直」という字でまっすぐという意味。そして右下は「心」ですね。つまり、
“まっすぐな心で、まっすぐ歩む”

という成り立ちを持っています。

そして、その人の優れた品性や人間性を表す言葉になりました。確かに、Yシャツを着ていようがいなかろうが、あなたは「得」をしない。けれどもあなたの「徳」は確実にあがっているのです。以前ホメホメ大会をやりましたよね。あれだって相手の良い所をほめてもあなたは一向に「得」はしないのです。でも人を喜ばせる、誰かの役に立つという意味でしっかりとあなたの「徳」になっているのです。

挨拶できる人とできない人、時間が守れる人と守れない人。掃除できる人とできない人。話が聴ける人と聴けない人。人のために動ける人と自分のためにしか動けない人。あなたはどちらが良いですか？だからこそ、何かをするときに「得」するかどうかではなく、自分の「徳」になるかどうかという基準で判断し、行動できる人間になりたい。

「得」しようとする人を見ていると、その自己中心性にイライラするが、「徳」しようとする人を見ていると清々しい。その美しい人間性を感じずにはいられないからです。

「得」しようとする集団はギスギスする。自分の利益を求め、他を蹴落とそうとするからである。「徳」しようとする集団は温かい。利害関係をこえた絆を結ぶからです。

どうせなら、後者のように私は生きたい。

1組担任 新井 雄士

生活について 『整える』

今月は「整える」です。身だしなみ整っていますか？教室のロッカー整っていますか？また、この整えるは“心”にもいえます。サッカー日本代表の主将：長谷部誠さんの【心を整える。勝利をたぐり寄せるための56の習慣】という本を知らない人はいないと思います。その本の中には、**心は鍛えるものではなく、整えるものだ。いかなる時も安定した心を備えることが、常に力と結果を出せる秘訣だと…** みなさんのことに置き換えると、心を乱すことなく学習や係・当番活動、委員会や部活動に取り組んでいくことでしょうか。心を整えるのにまず必要なことは、基本的な生活習慣だとも長谷部選手は言っています。睦中生徒諸君、清宮くんの次は、長谷部選手に近づこうではないか!!!

生活指導担当 萬木 康哲

学習について

期末テストが終わりました。自分が立てた目標は達成できましたか。12月に入り、2学年としての生活はあと4ヶ月となりました。4か月後には、最高学年になるのですね。進路の学習も始まり、多かれ少なかれ進学を意識する時期に入ってきました。そして、2年生の3学期は進路選択において重要な意味を持っていることは知っていると思います。

そんな3学期に向けて、「まだ12月だから大丈夫」とか、「3学期になったら頑張ろう」などと考えている人もいるのではないのでしょうか。とんでもない！今までそうやって先延ばしにしてきた自分はいませんか。今度こそ、もう後戻りできない時期に入ります。後悔しない自分づくりを最後に目指してみませんか。

学習担当 鈴木 泰

保護者の皆さまへ

早いもので師走となりました。

私たち教師は、一年中走りまわって、一日があっという間で一年もすぐ過ぎてしまいます。子ども達にとって、この12月は、期末テストの返却や成績が気になるものの、楽しいウキウキした事が多く待っていることでしょう。学校行事としては、地域美化清掃・ふれあい行事があります。美化清掃は地域の方へ、ふれあい行事はPTA役員さんやふれあい隊の方に感謝をして取り組ませたいと思います。感謝の気持ちを挨拶や行動で伝えることが苦手な生徒もいますが、大人になる大切な勉強です。

さて、三者面談があります。短い時間ですが、お子さんの学習の様子・生活の様子などについてお知らせしたいと思います。ご意見ご要望がありましたら、お知らせください。



2学年主任 齋藤 智枝子